

堂 谷 津 の 里 か ら

堂谷津の里では、8月下旬から10月上旬にかけて稲刈りを行い、もち米（ヒメノモチ）、うるち米（いのちの壺）、赤米、緑米、黒米の収穫を終えることができました。是非、堂谷津のお米をご賞味ください。11月3日には収穫祭を予定しています。皆さんと一緒に自然からの恵みに感謝し、収穫を祝いたいと思います。

【田んぼでは】



ヒメノモチは、会員の手で刈り取り・おだ掛けを行い、天日乾燥後、会員から借用したハーベスターで脱穀しました。



いのちの壺は、コンバインでの刈り取りを委託して行いました。



親子米づくり体験では、my田んぼの稲刈り・おだ掛けを行い、その後の生きもの観察で、ギンヤンマも手にすることができました。



ビオトープの田んぼでは、古代米（赤米、緑米）を育てました。

【堂谷津の里・百景⑥】

【千葉県環境研究センター出前講座のご案内】

日時：令和3年10月26日（火）10時～12時

テーマ：堂谷津付近の地層と地下水の動き

講師：地質環境研究室主席研究員 風岡修氏、
研究員 小島隆宏氏、研究員 伊藤直人氏

集合場所：堂谷津の里活動広場

*講義と現地での指導があります。多くの皆さんの参加をお待ちしています。



千葉市から受領した大賀ハスの分根から一輪開花しました。

ビオトープ 田んぼでの「古代米」田植えから・・・
利根川下流域にある中央博物館大利根分館を訪ねる。(2021/9/9)

佐原駅から車で20分ぐらいの、利根川下流域の広大な田んぼ風景は、圧巻である。此の水郷地域は、江戸時代から明治、大正、昭和、現代まで多くの人々が訪れ、香取、鹿島、息栖（いきす）三神社、十二橋巡り、フナ釣りが楽しめるところでもある。また、川の恵みを頂きながらも水害から守る水塚の屋敷（土盛りと2階に蔵がある）や五穀豊穰・水害除け、船運安全の神として「水神様の塔」が多くあるという。（鹿島川の氾濫から谷当町にも村落に向けて木立の中に「水神塔」が建てられている）さて、古代米70種類余とキビ、アワのタネを冷凍庫で保管しながら、毎年、作付けをして繋げて来ている話と館内に展示されている米作りに使っていた道具も展示されていた。古代米は、古代の野生種の形質を残した品種で稲の原種であり背丈が高くなるので稲刈りの時期、台風で倒れることも多く、脱穀など手間作業が多いことから量は、難しいということである。期待した稲穂の標本は、見られず残念！
大利根 川のミュージアム ニュースレター「たかっぼ通信」が発行されている。（F.S.）



穂が種によって落ちる時期が違い、
稲刈りは一斉にはできない



古代米の稲穂の多くは長い



左が千歯ゴキ、右が足踏脱穀機



田下駄

<情報コーナー>

11月6日(土)に「堂谷津の里自然観察会 秋の自然を楽しむ」を開催します。収穫祭及び自然観察会について詳しくは、ホームページでご確認下さい。

NPO 法人バランス 21

E-mail :yatosatoyama@gmail.com

URL :https://balance21.jimdo.com/

連絡先：千葉市若葉区谷当町 70

TEL & FAX:043-239-0645 (現地)